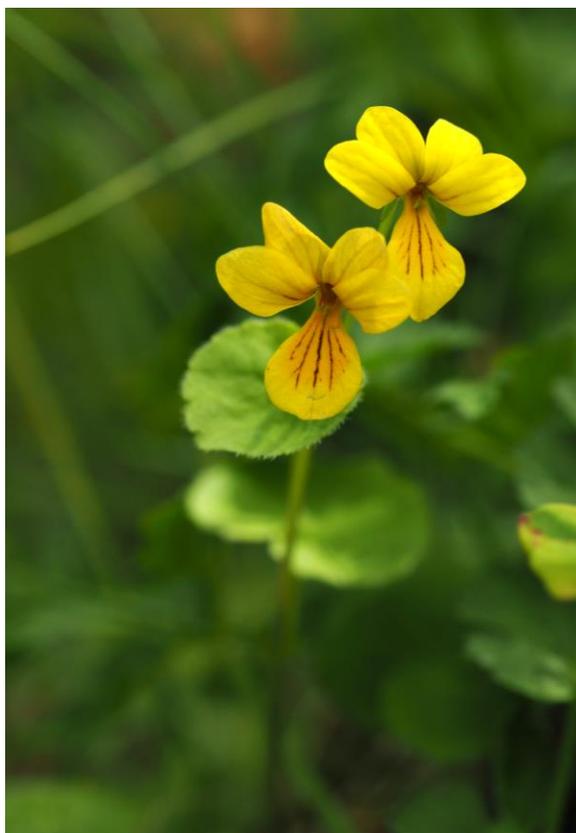


スミレの仲間は花の色が紫色やピンク色をしたものが多いのですが、黄色の花を咲かせる種類もあります。南アルプスや中央アルプスの高山帯に生えるキバナノコマノツメは、そんな黄色いスミレの代表種です。和名の「コマノツメ」は、丸い葉っぱを馬の蹄に見立てて名づけられました。名前に「スミレ」と付かないのも面白いですね。

ロープウェイで行ける千畳敷でも見られます、足元の小さなスミレを探してみてください。



満開のキバナノコマノツメ(2019.7.8 中央アルプス千畳敷カール)
中央アルプスの稜線では、別の黄色いスミレであるクモマスミレも見られる。



黄色が鮮やかなキバナノコマノツメの花(2019.7.24 南アルプス三伏峠)
高山帯だけでなく、亜高山帯の草地にも生育している。



群生するキバナノコマノツメ(2023.7.11 南アルプス仙丈ヶ岳馬の背)
南アルプスのキバナノコマノツメは、変種アカイスキバナノコマノツメとされる。